

「くらかけネット」の取組

～人と人がつながる仕組みをつくる～

【岩国市 玖珂中学校区】

地域の概要

玖珂町は、総面積が 23.2k㎡と小さくまとまった町です。中学校が1校、小学校が2校あり、いずれも近接しているため、以前から小・中が連携して児童生徒を育てる取組を行ってきました。

町内には、幼稚園と保育所が各2園と高森高等学校があり、幼保・小・中・高が連携して、0歳から18歳までの一貫した教育が可能な地域と言えます。また、総合型地域スポーツクラブ「KUGAスポーツクラブ」の活動を通じて、老若男女が交流しています。

人口	10,714人	
世帯数	4,842世帯	
対象校及び児童生徒数	玖珂中学校	317人
	玖珂小学校	452人
	玖珂中央小学校	169人

組織の内容

【学校運営協議会】

玖珂中学校は、平成24・25年度の2か年、文部科学省の「コミュニティ・スクールの推進に係る調査研究事業」の指定を受け、学校運営協議会を設置し、教育活動を展開してきました。まず、地域の現状や課題について情報を集め、委員を選定しました。委員は地域代表として、青少年相談員、自治会連合会会長、子ども会連合会玖珂支部長、老人クラブ連合会会長、更生保護女性会会長の5名、保護者代表として、PTA会長、同副会長の2名で組織しました。また、地域協育ネット協議会には、校区内の小学校長も参加しました。

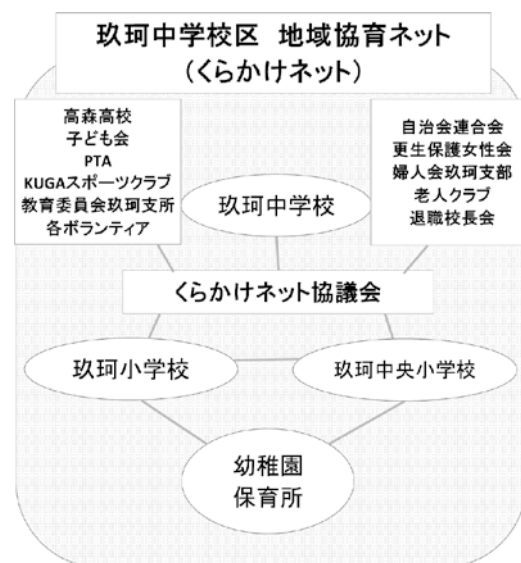
【企画委員会】

地域協育ネット協議会の組織づくりにおいて、「人と人がつながる仕組み」をつくることをコンセプトに小・中学校長が中心となって総括コーディネーターを選出し、PTA会長を加えたメンバーで編成しました。

平成29年度の小学校の統合を見据え、地域と学校がより強くつながる協議会となるよう議論を重ねました。

【地域協育ネット協議会「くらかけネット協議会」】

昨年度から、地域協育ネット協議会を「くらかけネット協議会」と命名し、総括（統括）コーディネーター、市教委玖珂支所長、小学校のPTA会長と地域担当、幼保連絡協議会代表、KUGAスポーツクラブ代表、高森高等学校長をはじめとするメンバー全員で、めざす子ども像のスローガンを「笑顔でチャレンジさわやか玖珂っ子」に決定しました。



特色・重点的な取組

【ボランティア活動】

玖珂中学校では、地域貢献の一環としてボランティア活動に力を入れています。子ども会と連携し、子ども会主催の行事にボランティアとして多数の生徒が参加しています。生徒が積極的に地域行事に参加し、地域の方と交流することで、自己有用感を高め、地域の一員としての自覚をもつことをねらいとしています。

【総括コーディネーターを中心とした組織づくり】

「くらかけネット」の活動によって、学校と地域がスムーズにつながるためには、総括コーディネーターの役割が重要です。この総括コーディネーターが要となり、「人と人がつながる仕組み」づくりをめざしています。

主な活動の紹介

○ 地域と小中連携の取組

◆ 自治会清掃

一昨年度より、自治会の一斉清掃の日を中学校のテスト期間中の日曜日に合わせていただき、日曜参観日の午前の活動として、生徒は自分たちの住む地域の清掃活動に参加するようになりました。更に今年度からは、小学校も学校行事として自治会清掃に参加することになり、学校と地域が連携した協働の場となりました。参加した小・中学生の紹介を自治会長がしてくださり、地域の方々と顔見知りになる良いきっかけとなりました。小学校の参加が実現したことで、今まで小中連携事業として実施してきた「3校ふれあいクリーン作戦」は発展的に解消しました。



自治会清掃

◆ 面接指導と放課後学習

退職校長会玖西支部の協力を得て、放課後の補充学習と入試面接の練習を実施しました。地域の方に指導していただくことで、生徒は緊張感をもち、真剣に取り組みました。



面接練習

○ 地域への貢献

◆ ボランティア活動

地域に根ざしたボランティア活動に参加することで、児童生徒の自己有用感や自己肯定感が育まれました。また、カルタ大会や球技大会、キャンプ等の子ども会行事にも、たくさんの中学生在が参加することで地域とのつながりが生まれ、充実した取組になりました。



ボランティア活動

○ 「熟議」による協働

昨年度のくらかけネット協議会では、めざす子ども像について熟議を行い、スローガンを「笑顔でチャレンジさわやか玖珂っ子」に決定しました。

今年度は、より実働的な組織へと再編成するための熟議を行い、「学校支援」「環境整備」「安心・安全」の三つの部会の長にコーディネーターを配置することにしました。これは、将来の総括コーディネーターの育成と人材の確保を視野に入れた新しい取組です。

成果と課題

自治会清掃やボランティア活動等の地域貢献を通じて、地域の方々との交流が深まり、児童生徒の中に自己有用感や自己肯定感が育まれました。また、地域の方々にいつも見守られていると実感したことで、地域を今まで以上に身近に感じ、玖珂を好きになったという感想がありました。

課題としては、総括コーディネーターが活躍できる協力体制の在り方について協議を重ね、「学校支援」「環境整備」「安心・安全」の三つの部会の運営方法や、部会長の選出方法などについて検討していく必要があります。

今後の取組

今年度は、実働的な組織づくりをめざして動き始めました。今後は「地域協育ネット」の要になる人材を育成するとともに、既存の取組を更に充実させていきたいと考えています。また、新たに高校生ボランティアの参加を呼びかけ、放課後学習の充実を図ることや、小学校統合を機に玖珂小学校の新校舎に設置されるコミュニティ・ルームを有効に活用する方法、地域と学校がより密接につながる情報発信などについて、協議をしていく予定です。